

浅井北だより



☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆令和7年 7月号

☆ 大きく成長できる夏休みに ☆

4月9日に全校児童がそろって始まった1学期も終わり、夏休みを迎えようとしています。子どもたちは様々な学習や活動を通して、様々なことを身につけてきました。1学期の後半には、1年生が育てているアサガオに、2年生は育てている夏野菜に水やりする様子が1日の始まりを告げる風景となっていました。5年生はめだかを育て、日々その成長の様子を見守り、観察していました。ひまわり学級は、収穫をしたたまねぎを販売しました。仕分けや袋詰めなどの準備作業から熱心に取り組み、一人一人が上手に店員さんの役割を果たすことができました。五感を通して感じる経験、特に植物や生き物と直接触れ合うことは情緒の安定につながると考えます。子どもたちが身の回りの小さな命に目を留め、成長に気づき、大切に育てていくことで、生きていることや成長のすばらしさを感じてほしいと思います。



今年の1学期は、自分がとてもすてきを感じる事が2つありました。1つは、時間を見て行動できる姿が見られたことです。もう1つは、とても健康に学校生活を送ることができたことです。

6月、プールの授業が始まると同時に、気温がぐんぐん上がり、暑さ指数(WBGT)も急激に高くなりました。暑さ指数(WBGT)が31を超えると「危険」レベルになり、原則運動中止となります。そうすると、プールも体育の授業も中止となりますが、休み時間の外遊びも中止となります。また、暑さ指数が31を超えない「厳重警戒」レベルのときは、無理をさせないため、制限をかけるようにしています。その制限の中に「外遊び10分」(通常は15分)というものがあります。15分遊びのときは放送が流れるので、その放送を聞いて子どもたちは教室に戻りますが、10分のときは、その放送が流れません。流れないのに、子どもたちは時間を見て、周りの動きを見て、自分たちで教室に戻っていきました。もちろん「もどきなさいよ」というアナウンスもありません。制限がかかって遊び足りないだろうに、自分の健康のため、学校の約束を守るため、自分を律して行動している子どもたちをとてもすてきだな、と思いましたし、誇りにも思いました。

今年度の1学期は、病気や体調不良で欠席する子どもたちの数がとても少なかったです。昨年度の6月、マイコプラズマ感染症が流行っていたこともあって、1日平均8人ほどの欠席がありました。今年度は、大きな感染症の流行も今のところなく、今年度の6月の1日平均の欠席者数は4人ほどでした。子どもたちが大きな病気もせず、健康に過ごせていることがとてもすてきだな、と思いました。

さて、子どもたちは夏休みに入ります。夏休みも、1学期と同様に、明るく、元気に、そして安全に、過ごしてほしいと思います。毎年、水の事故、交通事故、熱中症などで子どもが亡くなった報道を目にします。本当に悲しいことです。浅井北小学校の子どもたちがこのような目に遭わないでほしいと切に願います。規則正しい生活を心掛け、安全に生活するとともに、家族の時間をたくさん作って、楽しい夏休みを過ごしてください。1学期間、本当にありがとうございました。2学期も、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

